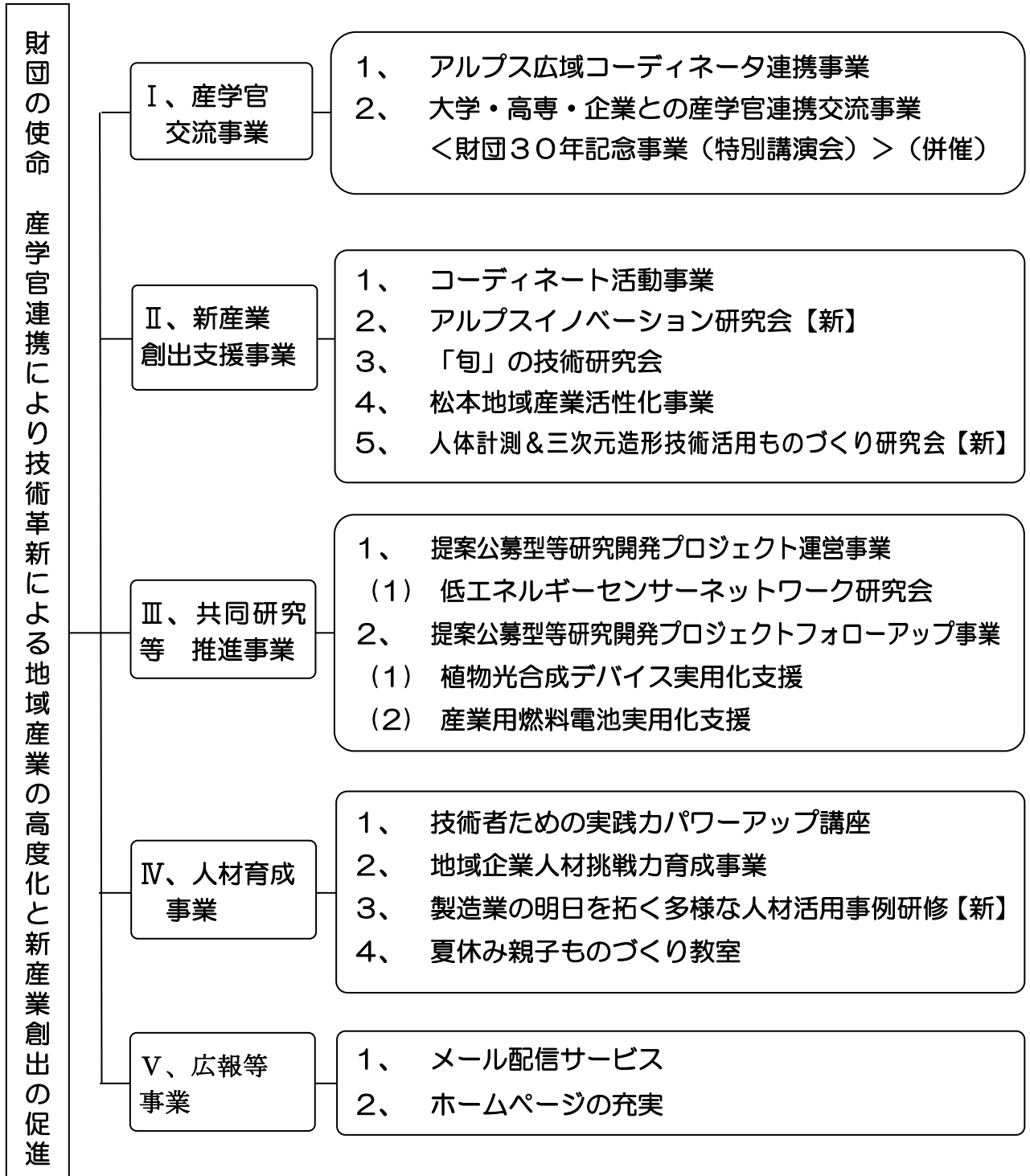


平成28年度アルプスハイランド地域センター事業計画

事業体系



アルプスハイランド地域センター事業計画

I 産学官交流事業

地域企業における産学官連携活動に向けた支援強化のため、地域の支援機関の連携活動を推進するとともに、地域企業の新技術・新製品の研究開発やその成果の早期事業化に資する、大学等の技術シーズを見出す機会を提供する。

1 アルプス広域コーディネータ連携事業

アルプスハイランド地域の地方自治体・商工団体及びその関連機関、県内大学・高専・公設試の関係者及びコーディネータが一堂に会する会議体を運営する。この会議体を通じて、企業の技術シーズやニーズ及び提案公募型事業等の支援情報をコーディネータ間で共有し、連携による当地域企業支援を強化する。

2 大学・高専・企業との産学官連携交流事業

地域の企業が様々な連携により自社のものづくり技術を発展させて成長期待分野に参入していくための「産」と「学」のマッチングの場づくりとして、「学」による地域の産業、企業が活用できそうなシーズ情報の提供、企業による産学連携の取り組みや「学」にアピールしたい技術展示等、大学・高専等と地域企業のシーズやニーズを知り合う産学官交流会を開催する。更に、長野県テクノハイランド開発機構設立から30年記念事業として、以下の特別講演会を併催する。

長野県テクノハイランド開発機構設立から30年記念事業

産学官交流会 特別講演会

良い“もの”、優れた技術を持ちながら市場で苦戦する中小企業にとって、その活路探しは大きな課題であるが、そうした中小企業が目指すべきゴールの一つとしてGNT企業がある。そこで、中小企業の技術経営者が取るべきGNT企業の位置取り戦略について学び新たな発展方向を探る。

[信州産学官連携機構、松本地域産学官連絡会、国立長野高専地域共同センターと共催]

II 新産業創出支援事業

地域企業における新分野進出や新技術開発などの新たな展開を支援するため、技術課題の解決を支援するコーディネート活動をベースとして研究会事業を企画・運営するとともに、他機関と連携して新産業創出に資する事業に取り組む。

1 コーディネート活動事業

地域企業が個々に抱える技術的課題の解決を支援するために、企業や研究機関等の訪問を通じて技術ニーズとシーズとのマッチングを図る。また、具体的な取り組みに必要な補助金や委託費等の研究開発資金獲得の支援を行う。

今後注目すべき技術シーズ等について、地域センターの各事業で取り上げて先進普及を図り地域の技術高度化に貢献する。

2 アルプスイノベーション研究会【新】

アルハイビジネススクールにより築かれた異業種に亘る若手経営者層のネットワークを母体として研究会を形成し、現に課題となっている技術課題の解決シーズを探索しニーズとのマッチングを図る技術講演会等を行う。経営者層の直接参加を活かし、企業間連携によるシーズ活用の取組みへの発展に繋げる。

3 「旬」の技術研究会

地域の企業が先進、最新情報を得てもものづくりの高度化に逸早く取組み、市場に勝ち残る競争力を確保するために、大学、先進企業等の持つ新規性のある最新技術シーズ及び商品・事業化事例等をタイミングよく講演会や見学会の形で提供する。

「次世代自動車」「健康・医療」「環境・エネルギー」等の成長期待分野の技術領域に着目し、具体的な研究開発事業の創出に結びつけていく。

[松本地域産学官連絡会と共催]

4 松本地域産業活性化事業

松本地域の産業高度化と新産業創出促進の為、まつもと工業支援センターと連携して新産業創出研究会を開催し、提案公募型事業を志向する企業を発掘して支援する。

[まつもと工業支援センターと共催]

5 人体計測&三次元造形技術活用ものづくり研究会【新】

製品のユーザビリティ評価や3次元造形に興味のある会員を集めて、人の行動の計測とその計測データを使ったユーザビリティ評価技術と最新の3次元造形技術を組み合わせ「ものづくり」の活路を探る。

[工業技術総合センターと共催]

Ⅲ 共同研究等推進事業

地域企業における新分野創出、新技術開発に向けた産学官連携による研究開発活動の円滑な推進を支援する。

1 提案公募型等研究開発プロジェクト運営事業

- (1) 「低エネルギーセンサーネットワーク研究会事業」
(ものづくり中小企業・小規模事業者連携支援事業)

2 提案公募型等研究開発プロジェクトフォローアップ事業

終了したサポイン事業等の補完研究等について支援を行う。

- (1) 「植物光合成デバイス実用化支援」(“蛍光励起による太陽光改質光合成植物育成システム”(地域イノベ H23 終了))
(2) 「産業用燃料電池実用化支援」(“高出力産業用燃料電池スタック実現の為に金型技術、金属プレス技術、実装技術及びめっき技術の高度化研究”(サポイン H23 終了))

Ⅳ 人材育成事業

地域企業における新技術・新製品の研究開発や実用化に資する技術人材の育成やものづくり現場に必要な最新情報の導入支援等により、地域産業の活性化と高度化を促進する。

1 技術者のための実践力パワーアップ講座

若手技術者の設計・開発実務能力のパワーアップを支援する。

本講座は座学ではなく、実務に直結する「超低コスト化手法、ポカミス撲滅法等」の具体的なテーマを定め、指導経験が豊富な講師による体験的な学習を通じて研究開発型技術者としての実践力を養う。

[工業技術総合センターと共催]

2 地域企業人材挑戦力育成事業

小規模企業の研究開発型人材育成には地域の産業団体との密なる連携が必要となる。そこで、地域産業団体と連携して技術経営研究会、各種公的支援制度の活用指導会等を開催し、モノづくりの高度化を志向する研究開発型企业人材の挑戦力を育成する。

[安曇野工業会と共催]

3 製造業の明日を拓く多様な人材活用事例研修【新】

持続的発展は企業の根本的目標課題であり、このために経営資源の質を高めていくことは欠かせない。中でも人材確保は優先順位が高いが、県内ものづくり中小企業にとっても容易に解決できない課題になっている。課題解決の一助とするため、女性技術者等多様な人材を活かすことで社業を活性化させている企業の例に学び発展への可能性を探る研修会を開催する。

4 夏休み親子ものづくり教室

モノづくりと科学技術に対する子供たちの関心を高める為に、長野県松本地方事務所・長野県工業技術総合センターと共同で、小中学生を対象に夏休み親子ものづくり教室を開催する。

[工業技術総合センターと共催]

V 広報事業

当地域センターの事業や各種情報の提供を行う。地域センターの事業実施効果を高めるため、他の支援機関等とも連携して取り組む。

1 メール配信サービス

長野県テクノ財団本部及び当地域センターが実施する事業、及び国・県の研究開発支援制度などの情報をタイミング良くメールで配信する。

2 ホームページの充実

当地域センターの事業、地域企業に関わりが深いイベントや国・県の研究開発支援制度などについてホームページで情報発信する。